



地域の歴史、風土、
生物多様性に
配慮した「もの」「こと」
づくりを行います。

都会の生態調査 プールのヤゴ救出観察会

活動時期 2022年5月～2022年6月

活動場所 港区立芝小学校（東京都港区芝）

2017年より参加している生物多様性みなとネットワークの活動の一環で港区が主催する課外授業にその一員として参加しました。港区内の小学校にある屋外プールにてヤゴ救出活動を行い、1時間半の活動の中で400匹以上のヤゴを救出することができました。都会の中にながら生物の豊かさに触れることができ、小学生の皆さんも夢中で楽しみながら活動をおこなっていました。活動の最後にはヤゴの種類や生態について学ぶ時間も、生物多様性について興味を膨らませていました。

活動の
目的

港区が主催する「生物多様性みなとネットワーク」に参加しています。港区にある多種多様な企業とつながり、港区の生態系について検討をしながら具体的な活動をいくつか実施しています。ともに協働できる機会を検討しながら港区のより良いまちづくりに貢献していきます。

取り組み
成果

「生物多様性みなとネットワーク」に参加して5年が経ちました。港区内の施設でのこのような活動は、自分たちの事業活動を地元地域へ還元する良い機会です。港区はあまり自然がない地域ですが、このような活動がこれからの若者たちの生物への興味関心への良いきっかけになればと思います。

今後の
目標
課題

この活動の他にもエコライフ・フェア MINATO やパネル展への出展といったこともあり、今後も継続して活動を進めていきます。その中で、参加する23の企業との連携や協働を事業として展開していきたいです。より良い社会に向けてパートナーとなり得るように取り組んでいきます。



1 救出したギンヤンマのヤゴたち 2 芝小学校3年生による観察の様子 3 捕獲した生物の種類ごとに仕分けしてデータ化して小学校に報告している
4 イトトンボのヤゴも発見アカトンボやシオカラトンボも捕獲できた 5 並んで端から一斉に追い込み漁



1 剪定箇所を平面図に赤で示すことで、丁寧な剪定の結果を示しました。 2 木の骨格解析結果を写真と重ねました。守るべき形を捉えています。
3 根元の腐朽空洞の内部も3Dスキャンし、断面の解析まで行いました。

3次元データの解析を導入した 文化財樹木の保全事業

活動時期 2022年1月～2022年3月

活動場所 東京都内

昔々から地域を見守っている大切な巨樹の保全に携わっています。図の樹木は東京都の天然記念物に指定されている大ケヤキです。前回の樹形の整姿剪定から10年、倒木の危険性を低減するために縮小した樹冠の状況を調査し、細やかな剪定や支柱の再設置などを行いました。さらに、成長しながら変化する樹木の形および剪定量、腐朽空洞部などの現況を3次元データ解析により図示することで、より良い保全事業に役立てました。

活動の
目的

文化財としての樹木を守り伝えていくために、調査および保全計画、処置などを行っています。大切な木を守るためには、科学的な調査によるデータや根拠を基にして、的確な保全が求められます。本事業では最新技術である3次元データ解析の導入によって、より良い保全事業を目指しました。

取り組み
成果

木の形は非常に複雑であり、目で見ただけでは正確に把握することが難しく、その後記憶や記録に留めることは尚更です。従来は写真やスケッチの手法により努めていましたが、今は3次元データ解析を加えて導入することによって樹形をより正確かつ効率的に把握できます。実務における根本的な課題の改善を達成しました。

今後の
目標
課題

樹木医の会社として、みどりを守るために、科学的な調査技術により精度の高いデータを収集し、高度な解析もできるよう目指しています。最新技術で実務の課題を解決できたことで社内のモチベーションが向上しました。社外からは驚きの声や導入の要望を多く頂きながら、この技術を活用して今後の幅広い展開を検討中です。

活動実施会社 株式会社エコル



1 店舗外観と地産地消推進店看板（宮城県）&とれたて仙台（仙台市）ロゴマーク 2 旬の野菜をふんだんに使ったオリジナルパスタのいろいろ
3 旬の野菜を調理・提供するシェフ

食の地産地消を目指して！ フードビジネスの新展開 Daccha

活動時期 2016年4月25日～現在

活動場所 せんだい農業園芸センターみどりの社（仙台市若林区荒井）

2016年の開園当初は、仙台的野菜「雪菜」トッピング、「みやぎ米食べ放題」で活況を呈していた「仙台とんこつラーメン一番堂」を営業していました。客層の変化等から2020年11月よりオリジナル麺をベースに旬の農産物を活用し「地産地消、旬の野菜、安全・安心」をテーマに、農業をより身近に感じられるパスタ店に業態変更しました。現在、宮城県の「地産地消推進店」登録、仙台市の「地産地消推進事業（とれたて仙台）」にも協力しています。

活動の
目的

農業を「食」を通して身近に感じてもらえる飲食事業を展開し、地域の食材の豊かさ及び安全・安心な食を提供するとともに、農産物の情報発信を目指しています。また、大地からの恵みを感じてもらい、環境への関心度を高めていきます。

取り組み
成果

現在パスタ店として、好評を得ています。月替わりで近隣農家からの旬の野菜・卵を使用した、オリジナルパスタメニューを提供しています。平日のPQアップにつながるため、カフェメニュー（ドリンク・タルトなど）も提供し、安定的な来客数を迎えています。また、リピーターも増え、味も高評価を得ています。

今後の
目標
課題

現在コロナ禍で、「密」を避けるため、席数を減らすなど対応策を実施しながら終息を待っている状態です。今後は「WITHコロナ」を意識して、「昼食付WS」や研修室利用者向け「ケータリング」、「テイクアウト商品」の提供を継続的に実施するとともに、「6次産業化商品」の開発も準備し、売上向上を目指していきます。

活動実施会社 日比谷アメニス・日比谷花壇共同事業体

